

ムスリムの 明家がいかに世界を えたか

5.0

明:ムスリムたちがその基をいた、あるいは在も使われている 々な 明品について。

目:[事イスラ ムによる利益科学と文明への利益](#)

より: ポ ル ヴアレリ

日1 Nov 2013

集日 12 Nov 2013

コ ヒ や小切手から、3品の食事まで、今では世界が当たり前のように考えている 明品の内、ムスリム世界による影 力の最も大きい9つの 明を ていきます。

(1) ハ リドというアラブ人が南エチオピアのカッフア地域で山羊を放牧していると、ある木の を食べたそれらの山羊たちが急に活 になったのに 付きました。

彼はその木の を で沸かし、最初のコ ヒ を作りました。それが 用されたという最初の は、エチオピアから 入され、イエメンで人々がそれを特 な礼 で一 明かすために んだというものです。15世 末になると、それはマッカ、トルコにも到 し、1645年にはそこからベニスへと渡りました。

それは1650年、ロンドンのロンバド通りに最初にコ ヒ ハウスをオ プンした、パスカ ロゼというトルコ人によってイギリスにもたらされました。アラビア の「カハワ」がトルコの「カハヴェ」、さらにイタリア の「カフェ」に し、英 では「コ フィ (コ ヒ)」となりました。

(2) 古代ギリシャ人は、私たちの目は、物を るためにレ ザ のような光 を していると考えていました。光を しているのではなく、光が目に入っていることを最初に した人物は、10世 のムスリム数学者 天文学者 物理学者のイブン アル=ハイサムでした。

彼は、 の穴から入ってくる光を 察し、最初のピンホ ルカメラを 明しました。小さい穴を通った光ほど良い像を作ること を した彼は、最初のカメラ オブスクラ（「カマラ」は暗室を意味するアラビア ）を み立てました。

また彼は、それまで哲学的活 だった物理を、 的活 にシフトさせた最初の人物として さ れています。

（3）古代インドにおいても、チェスのようなものが 局されていましたが、 在私たちの知る形に 展したのはペルシャにおいてです。そこから10世 スペインのム ア人によって持ち まれ、西はヨ ロッパ、 は日本にまで まりました。チェス用 の「ル ク」は、ペルシャ で二 を意味する 「ル フ」から来ています。

（4）ライト兄弟の 代よりも1000年前、ムスリムの 人 天文学者 技 者のアッバ ス イブン フィルナスは、 行 の み立てに取り みました。西 852年、彼は木 の支柱を付けた布の翼と 共に、コルドバの大モスクのミナレットから び降りています。

彼は のように羽ばたくことが出来ると考えていましたが、そうすることは出来ません でした。そのとき布が落下を め、彼は で んでいます。それは最初のパラシュ トである と なされています。

西 875年、70 にして彼は 行 にシルクと の羽を使用し、山から再度 び降りました。彼は相当の高さから10分 に渡り宙を びましたが着 には失 し、それが失速を促す尾の欠如によるものだと正しく 付けました。バグダッド国 空港、そして月のクレ タ の一つは、彼の名にちなんで命名されています。

（5）洗 と沐浴はムスリムにとっての宗教的要件であることから、私たちが 在使う石 のような、より良い 法が考案されたと言われています。古代エジプトにも石 の一 があり、ロ マ人はどちらかというそれをポマ ドとして使用していました。

しかし、アラブ人が植物油、水酸化ナトリウムにタイム油といった芳香 を加えたもの を作り上げました。アラブ人たちにとって、十字 の最も 的な特 の一つは、洗 をしない

ことに由来する彼らの 臭だったのです。

シャンプ は1759年、英国南部ブライトンの海岸沿いに「マホメットのインド式蒸 留」を オープンしたムスリムによって初めてイギリスに持ち 込まれ、彼はジョージ4世 ウィリアム4世 国王のシャンプ 医として任命されていました。

(6) 沸点の なる成分を分 析する操作である蒸留は、イスラ ムにおける科学者の第一人 者、ジャビル イブン ハイヤンによって西 800年 に 明されました。彼は 金 を化学へと 変 換させ、液状化 晶化 蒸留 精 酸化 蒸 留などの、 代においても依然として使用され ている多くの 基本的な手法 装置を 考案しました。

また、硫酸 硝酸を 考案した彼は、ランビキを 考案し、バラ香水などの香水 や、(イスラ ムに おいて 酒は禁じられているものの、) 蒸留酒を世界にもたらしました。イブン ハイヤン は体系的な 方法を重要 とした、近代化学の 始者です。

(7) 回 転を直 接に するクランクシャフトは、内燃 機だけでなく、 代における中心的な 機械装 置です。この、人 の 史における最も重要な 機械 明の一つは、ムスリム工学者アル=ジャザリ によって、灌 漑の 水を目的として 明されました。

彼の著 「巧妙な 機械装置に する知 の 本」(1206年)からは、彼がバルブとピストンを 考案 あるいは改良したこと、また水力と重量で 動く最初の水 車を考案したこと、ロボット工学の父 であったことなどが示されています。彼による他の50もの 明の中には、合 成 (コンビネ ション ロック) があります。

(8) キルティングとは、2枚の布の 間に薄い 紙を入れ、重ねた状 で指し 刺す (キルティング) する手芸のことです。それがムスリム世界で 明されたのか、インド 中国から 入され た技 なのかははっきりとは分かっていません。

しかし、それが十字 によって西洋にもたらされたことは 定めています。彼らはムスリ ム 士たちが 兜の代わりに 下 (ギャンベソン) を用いているのを 考案しました。それは十字 の金属の 兜に する防御としてだけでなく、断 頭果もあることが 明されました。それは英

国やオランダにおける寒冷地の山小屋に使用される断材として一大 となった程です。

(9) ヨ ロッパのゴシック建 の大 堂における象 ともいえる尖 ア チは、イスラ ム建 から借用されたものです。それは口 マ 式やノルマン 式において用いられた半 ア チよりも耐久性に れていたため、建物をより大きく、より高く、より にすることを可能とさせました。

ムスリムからの借用としては、他にもリブ ヴォ ルト (穹窿)、バラ 、ド ム状建 物があります。ヨ ロッパで られる城郭も、イスラ ム世界の射 孔、胸壁、外防 、 干といった 式を 入したものです。四角の塔や いも、より容易な防御が可能な 形のものに 化していき ました。ヘンリ 5世の城を した建 士も、ムスリムだったのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1984>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。